

中小企業景況調査報告書 (福井県商工会地域)

令和2年 4月～ 6月実績

令和2年 7月～ 9月見通し

福井県商工会連合会

I. 景況調査の概要

1. 調査目的 この調査は、経営指導員による訪問面接調査により福井県商工会地域中小企業の経済動向について一定時期ごとに迅速・的確に収集、提供して、経営改善普及事業を効果的に実施するものです。
2. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
3. 対象地区 あわら市、坂井市、永平寺町、福井東、福井北、福井西、越前町、越前市（池田町）、南越前町、わかさ東、おおい町（高浜町）の計11商工会
4. 対象企業数 165企業（1商工会15企業）
5. 回答企業数 164企業（回答率99.4%）
6. 調査対象期間 令和2年4～6月期実績及び令和2年7～9月期見通し
7. 調査時点 令和2年6月1日（月）
8. 回答企業内訳

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	38	23.0%	38	23.2%	100.0%
建設業	24	14.5%	23	14.0%	95.8%
小売業	51	30.9%	51	31.1%	100.0%
サービス業	52	31.5%	52	31.7%	100.0%
合計	165	100.0%	164	100.0%	99.4%

9. DI値（ディフュージョン・インデックス、景気動向指数）

企業の景気動向を示す指標です。各調査項目について〈増加・上昇・好転〉の割合からDI値がプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となります。

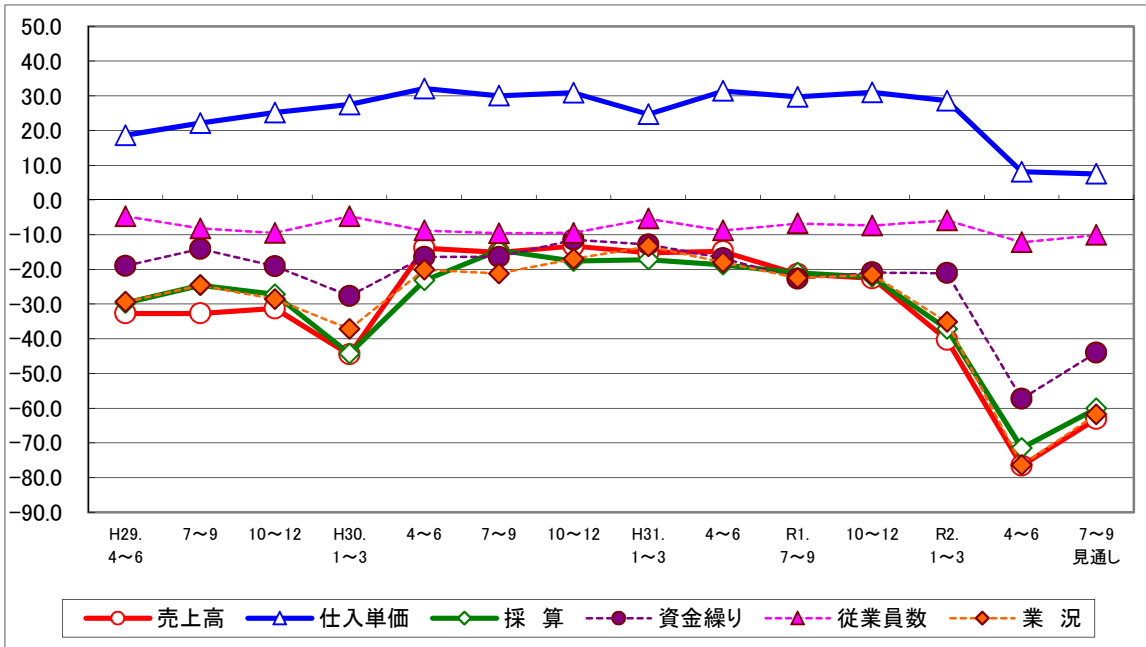
$$DI（数式） = （上昇企業数 - 低下企業数） \div 回答企業数 \times 100$$

10. 分析執筆者 福井県立大学 地域経済研究所長 教授 南保 勝 氏

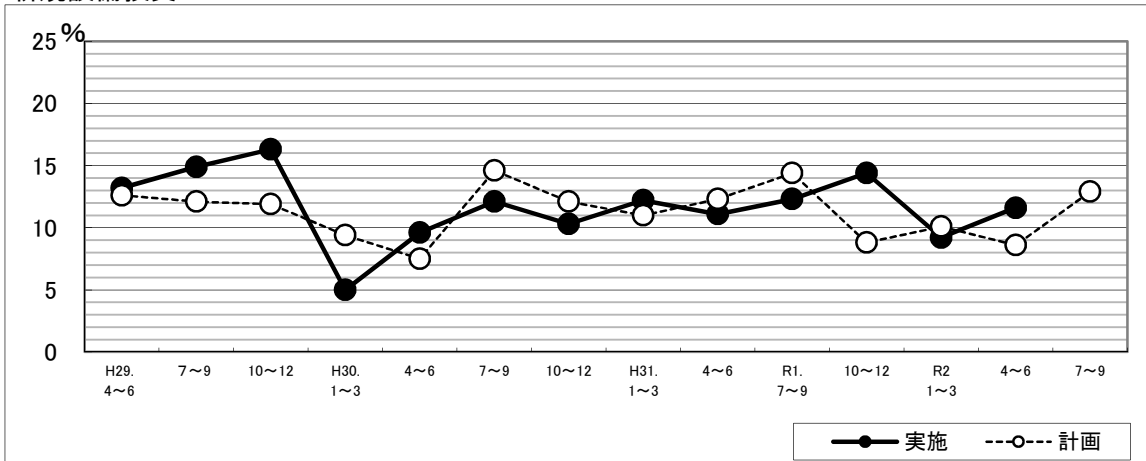
全体(福井県商工会地域中小企業)の景況

景気動向推移(前年同期比:DI値)

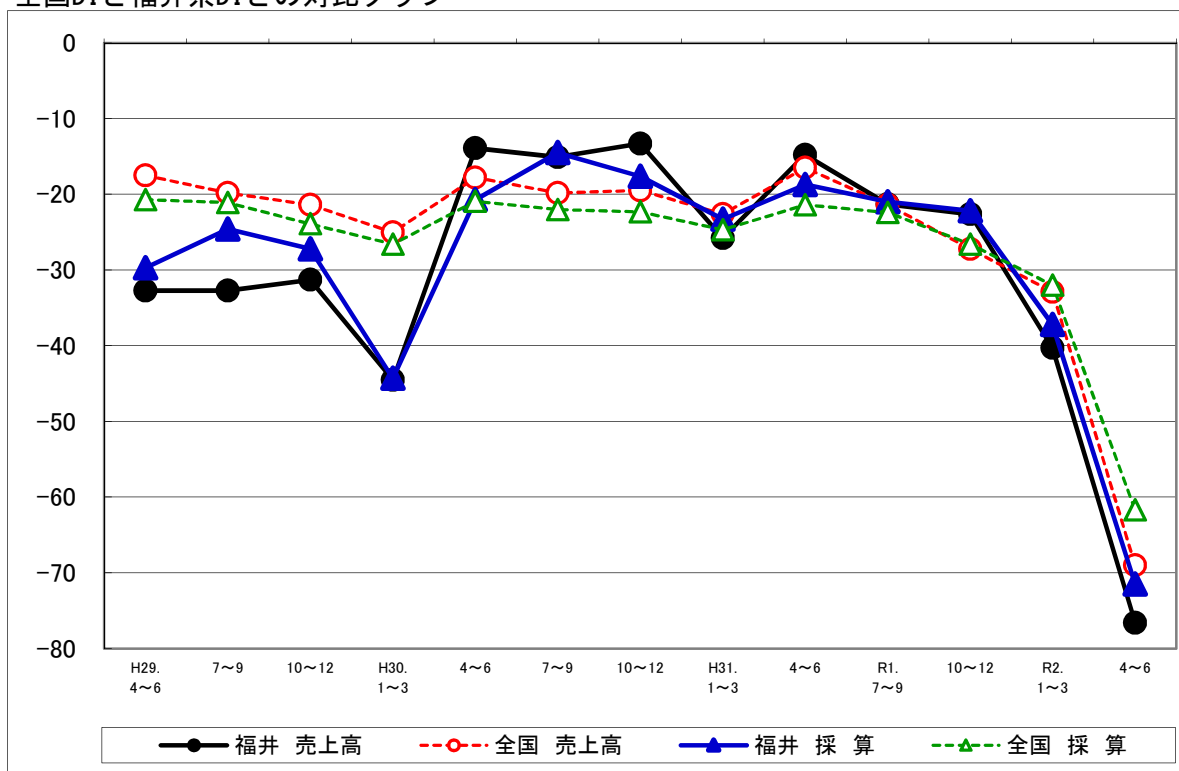
期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H29.4~6	▲ 32.7	18.6	▲ 29.7	▲ 19.0	▲ 4.7	▲ 29.4
7~9	▲ 32.7	22.1	▲ 24.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 24.6
10~12	▲ 31.3	25.2	▲ 27.2	▲ 19.1	▲ 9.5	▲ 28.6
H30.1~3	▲ 44.5	27.5	▲ 44.3	▲ 27.7	▲ 4.7	▲ 37.2
4~6	▲ 13.9	32.1	▲ 23.2	▲ 16.4	▲ 8.8	▲ 20.1
7~9	▲ 15.1	30.0	▲ 14.5	▲ 16.4	▲ 9.6	▲ 21.2
10~12	▲ 13.3	30.9	▲ 17.6	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 17.0
H31.1~3	▲ 15.2	24.7	▲ 17.2	▲ 12.8	▲ 5.4	▲ 13.4
4~6	▲ 14.8	31.4	▲ 18.7	▲ 16.8	▲ 8.8	▲ 18.0
R1.7~9	▲ 21.3	29.7	▲ 21.0	▲ 22.7	▲ 6.8	▲ 22.5
10~12	▲ 22.6	31.0	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 7.4	▲ 21.6
R2.1~3	▲ 40.3	28.6	▲ 37.2	▲ 21.1	▲ 5.9	▲ 35.2
4~6	▲ 76.6	8.1	▲ 71.5	▲ 57.3	▲ 12.2	▲ 76.4
7~9見通し	▲ 63.1	7.5	▲ 60.1	▲ 44.0	▲ 10.1	▲ 61.8



新規設備投資



全国DIと福井県DIとの対比グラフ



全体の景況

R2年4-6月期の福井県経済を概観すると、需要面では、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いているものの、一部の業種などでは下げ止まりの動きも出始めている。供給面では、繊維、眼鏡枠などの地場産業で弱い動きが続いているほか、化学は合成樹脂製品を中心に、プラスチックは包装資材中心に弱い動きとなっているものの、電子部品・デバイスがパソコン向けで持ち直していることなどから、全体でも一部で下げ止まり感がみられる。

こうした中、今期（R2年4-6月期）の景況調査をみると、全体では景況感を示すDI値6項目のうち、5項目で悪化の度合いを強めている。ちなみに、各項目ごとのDI値をみると、仕入れ単価（逆指数）が前期28.6から今期8.1に改善。悪化した項目では、売上高が前期▲40.3→今期▲76.6、採算が前期▲37.2→今期▲71.5、資金繰りが前期▲21.1→今期▲57.3、従業員数が前期▲5.1→今期▲12.2、業況が前期▲35.2→今期▲76.4となっている。今回の調査結果から、福井県の中小企業がコロナ禍、全体として厳しい状況にあることがうかがえる。ただ、先行き（R2年7-9月期）については、6項目のDI値全てがわずかではあるが改善傾向へと向かっている。

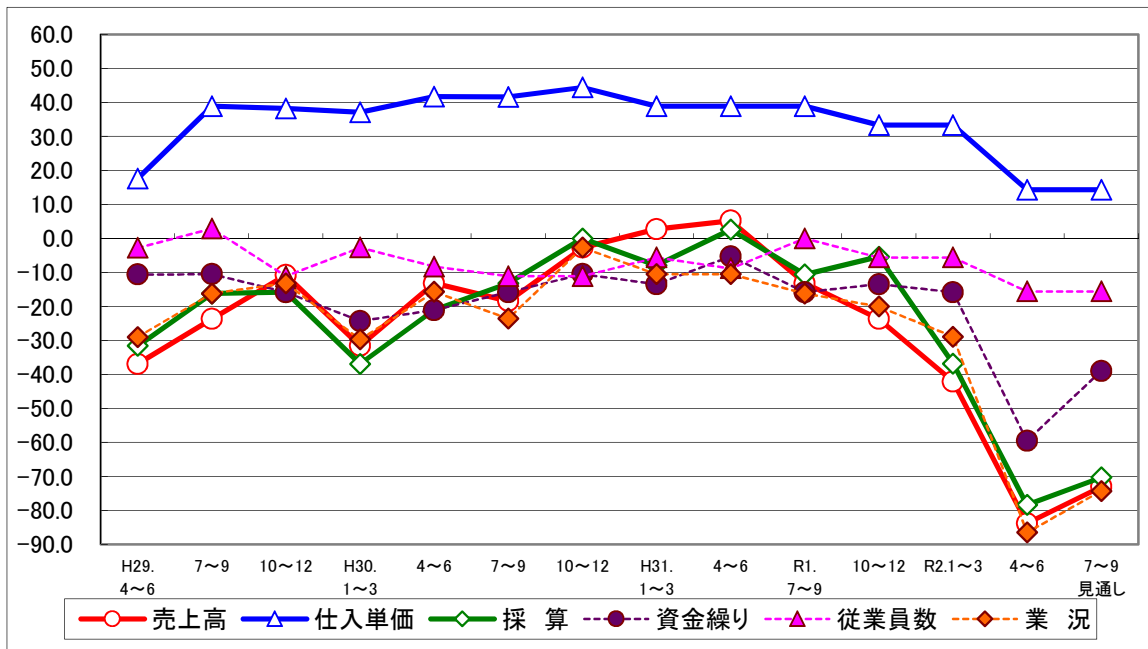
一方、売上高と採算のDI値を全国と比較すると、全国、福井県ともに前期比で大きな落ち込みとなっている中、福井県の場合、その落ち込みは全国に比べ大きい。

そのほか、今期の新規設備投資については、何らかの設備投資を計画している企業ウェイト8.6%に対して実施した企業ウェイトが11.6%と、実施が計画を上回った。また、先行き（R2年7-9月期）については、何らかの投資を計画する企業ウェイトが12.9%となっており、投資マインドは、ほぼ今回同様の水準で推移することがうかがえる。

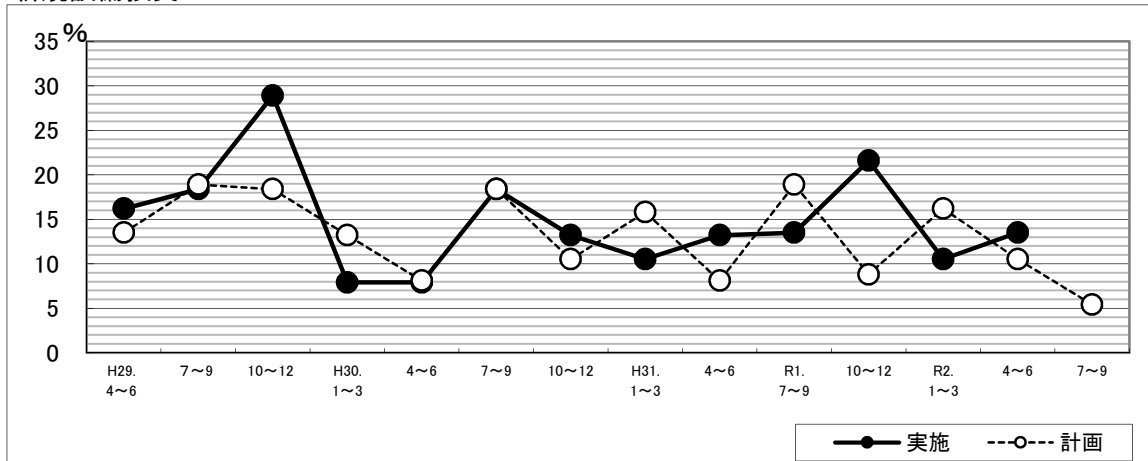
製造業(福井県商工会地域中小企業)の景況

景気動向(前年同期比:DI値)

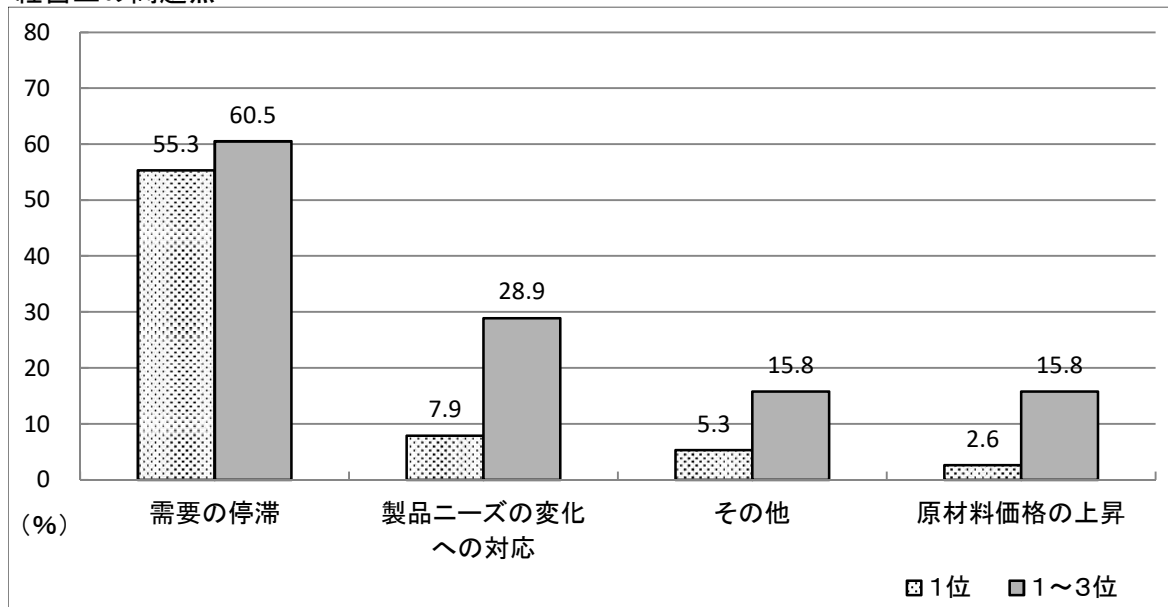
期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H29.4~6	▲ 36.9	17.6	▲ 31.6	▲ 10.6	▲ 2.8	▲ 29.0
7~9	▲ 23.7	38.9	▲ 16.2	▲ 10.5	2.9	▲ 16.2
10~12	▲ 10.8	38.2	▲ 15.8	▲ 15.8	▲ 11.1	▲ 13.2
H30.1~3	▲ 31.6	37.1	▲ 36.9	▲ 24.3	▲ 2.7	▲ 29.7
4~6	▲ 13.2	41.7	▲ 21.0	▲ 21.1	▲ 8.3	▲ 15.7
7~9	▲ 18.4	41.6	▲ 13.2	▲ 15.8	▲ 11.1	▲ 23.6
10~12	▲ 2.7	44.4	0.0	▲ 10.5	▲ 11.1	▲ 2.7
H31.1~3	2.7	38.9	▲ 7.9	▲ 13.5	▲ 5.6	▲ 10.5
4~6	5.2	38.9	2.6	▲ 5.3	▲ 8.8	▲ 10.5
R1.7~9	▲ 13.2	38.9	▲ 10.6	▲ 15.8	0.0	▲ 16.2
10~12	▲ 23.7	33.3	▲ 5.4	▲ 13.5	▲ 5.6	▲ 20.0
R2.1~3	▲ 42.1	33.3	▲ 36.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 28.9
4~6	▲ 83.8	14.3	▲ 78.4	▲ 59.5	▲ 15.6	▲ 86.5
7~9見通し	▲ 73.0	14.3	▲ 70.3	▲ 39.0	▲ 15.6	▲ 74.3



新規設備投資



経営上の問題点



調査企業の声

- ・新型コロナウイルスの影響で受注が減少しているの、これから先も減少しつづけるのか心配しています。
- ・新型コロナの影響で県市ともに発注量が減少している。

製造業の景況

最近の県内製造業を概観すると、各産業間で新型コロナウイルス感染症の負の影響が広がる中、一部の業種を除いて大幅な生産ダウンに陥っている。ちなみに、電子部品・デバイスがパソコン向けに動きがみられることから、持ち直している。化学、プラスチックは、合成樹脂、包装資材を中心に弱含んでいる。輸送機械、非鉄金属なども弱含んでいる。そのほか、繊維、眼鏡枠などの地場産業は厳しい経営環境が続いている。

こうした中、今期（R2年4～6月期）の景況調査をみると、全体では景況感を示すDI値6項目中5項目で悪化となった。ちなみに各項目をみると、改善項目は、仕入単価（逆指数）（前期33.3→今期14.3）で、悪化項目は、売上高（前期▲42.1→今期▲83.8）、採算（前期▲36.8→今期▲78.4）、資金繰り（前期▲15.8→今期▲59.5）、従業員数（前期▲5.6→今期▲15.6）、業況（前期▲28.9→今期▲86.5）で大幅悪化している。また、先行き（R2年7～9月期）については、DI値6項目のうち2項目で横ばい、4項目で改善となっている。

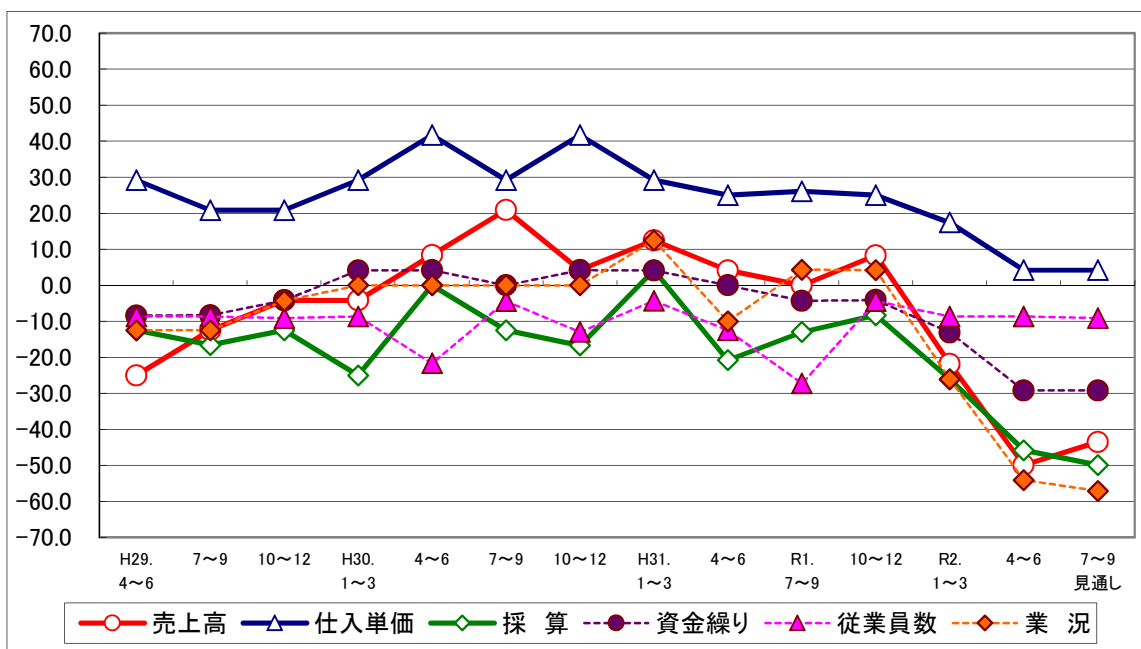
一方、新規設備投資の状況については、計画の10.5%に対し実施が13.5%と、実施が計画を上回ったものの、先行き（R2年7～9月期）については、何らかの投資を予定する企業が5.4%と、低調な投資マインドが続くものと思われる。

最後に、経営上の問題点については、1位に挙げた企業ウエイトが「需要の停滞」で最も多く55.3%（1位～3位までに挙げた企業60.5%）を占めた。また、個別の見解としては、「新型コロナウイルスの影響で受注が減少している。これからも心配」、「新型コロナの影響で県市ともに発注量が減少している」など、受注減にかかわる声が多かった。

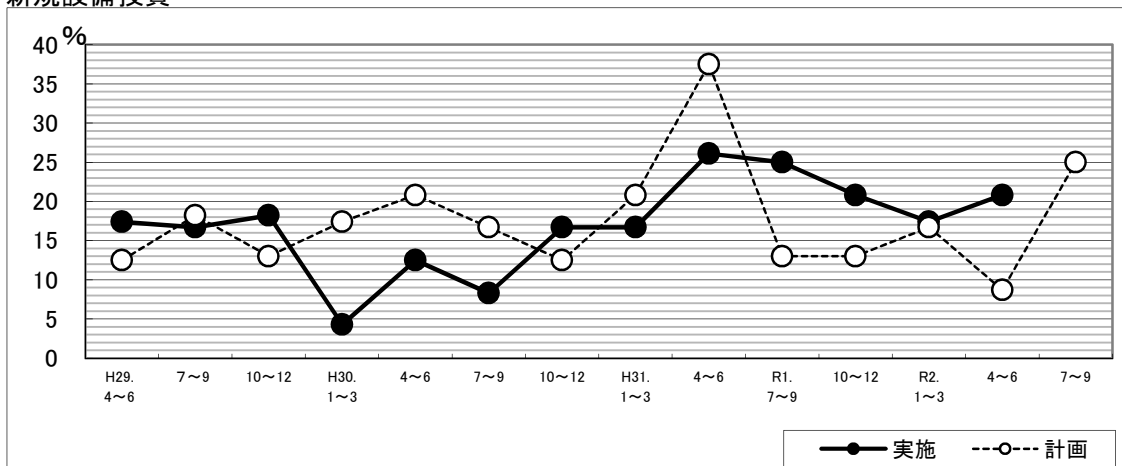
建設業(福井県商工会地域中小企業)の景況

景気動向(前年同期比:DI値)

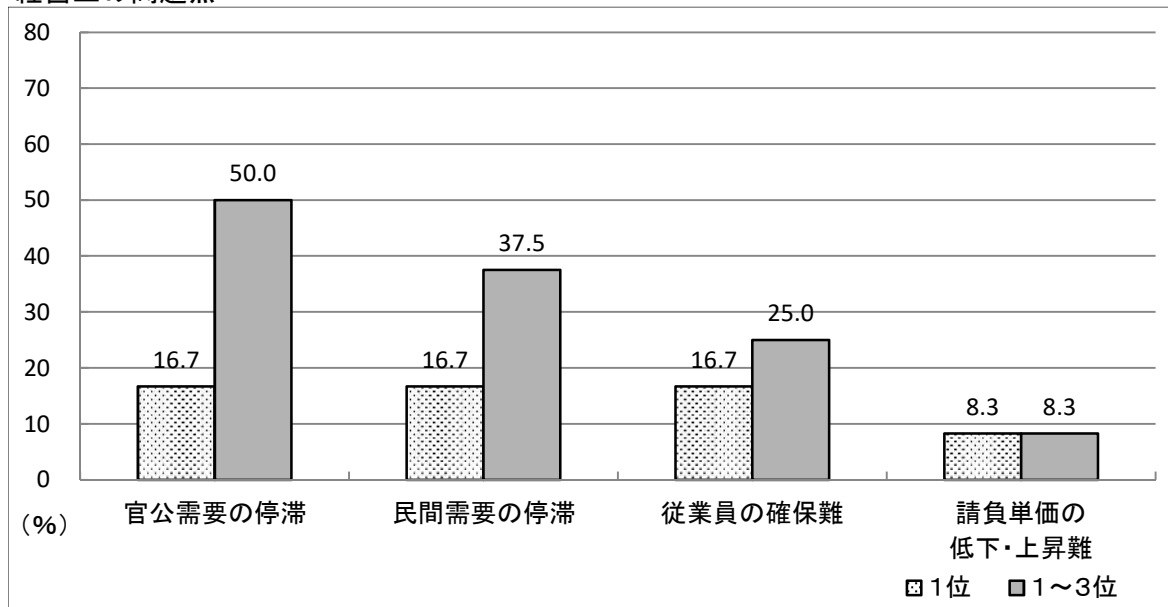
期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H29.4~6	▲ 25.0	29.2	▲ 12.5	▲ 8.4	▲ 8.7	▲ 12.5
7~9	▲ 12.5	20.8	▲ 16.6	▲ 8.3	▲ 8.7	▲ 12.5
10~12	▲ 4.2	20.8	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 9.1	▲ 4.3
H30.1~3	▲ 4.2	29.2	▲ 25.0	4.1	▲ 8.7	0.0
4~6	8.4	41.7	0.0	4.2	▲ 21.7	0.0
7~9	20.9	29.2	▲ 12.5	0.0	▲ 4.4	0.0
10~12	4.2	41.7	▲ 16.7	4.2	▲ 13.0	0.0
H31.1~3	12.5	29.2	4.2	4.1	▲ 4.3	12.5
4~6	4.1	25.0	▲ 20.8	0.0	▲ 12.5	▲ 10.0
R1.7~9	0.0	26.1	▲ 13.0	▲ 4.3	▲ 27.3	4.3
10~12	8.3	25.0	▲ 8.3	▲ 4.1	▲ 4.4	4.2
R2.1~3	▲ 21.8	17.4	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.7	▲ 26.1
4~6	▲ 49.9	4.2	▲ 45.8	▲ 29.2	▲ 8.7	▲ 54.1
7~9見通し	▲ 43.5	4.2	▲ 49.9	▲ 29.2	▲ 9.1	▲ 57.1



新規設備投資



経営上の問題点



調査企業の声

- ・コロナの影響により、今後さらに工事高が減っていく気配がある。技術者の確保、材料費高騰等により、今期を乗り越えても、来期には必ず資金繰りが困難になる。

建設業の景況

福井県内におけるR2年度（R2年4～R2年7月期）の公共工事発注状況（資料：東日本建設業保証株式会社）をみると、請負金額は累計で1,173億30百万円の前年同期比18.2%増、発注件数は同1,446件の同15.1%増となっている。これを主な発注者別でみると、独立行政法人等関連工事が603億36百万円の同13.4%増、県関連工事が182億75百万円の前年同期比10.9%増、市町村関連工事が251億26百万円の同44.2%増となっている。一方、住宅投資については、R2年4～R2年7月期までの4か月累計で、前年同期比22.7%減の1,000戸であった。利用関係別では、主力の持家が前年同期比17.9%減の638戸、貸家が同3.0%減の263戸となっている。

こうした中、今回の景況調査をみると、景況感を示すDI値6項目のうち仕入れ単価（逆指数）が改善、従業者数が横ばい、残る4項目で悪化となった。ちなみに、各項目をみると、売上高が前期▲21.8→今期▲49.9、仕入単価（逆指数）が前期17.4→今期4.2、採算が前期▲26.1→今期▲45.8、資金繰りが前期▲13.1→今期▲29.2、従業者数が前期▲8.7→今期▲8.7、業況が前期▲26.1→今期▲54.1となっている。今期については、県内建設業においても徐々に業容が悪化しているが、他の業種に比べその低下幅は小さなものとなっている。また、先行き（R2年7～9月期）については、3項目で悪化予測となっているが、その低下幅は小さい。

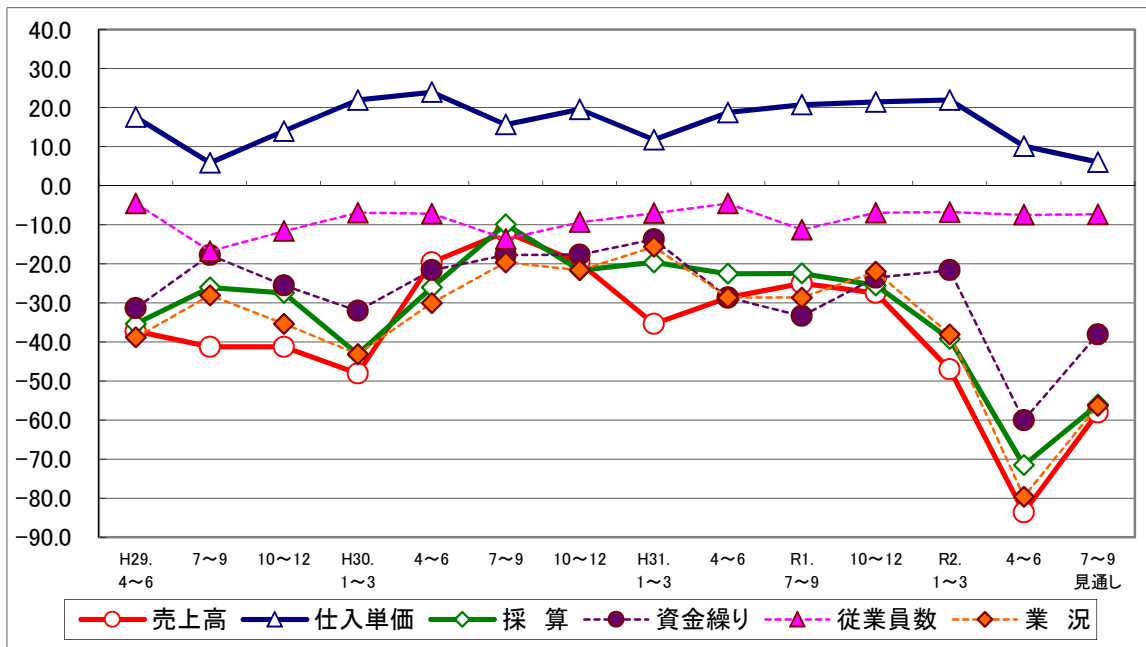
一方、今期の新規設備投資については、計画した企業8.7%に対し実施した企業が20.8%と実施が計画を上回っている。先行き（R2年7～9月期）については、何らかの投資計画を持つ企業が25.0%となっており、投資意欲の改善が期待できる。

最後に、経営上の問題点については、「官公需要の停滞」が1位に挙げた企業ウエイト16.7%、1位～3位までに挙げた企業50.0%を占め最多となった。また、「民間需要の停滞」への指摘も比較的多い（1位に挙げた企業16.7%、1位～3位に挙げた企業37.5%）。

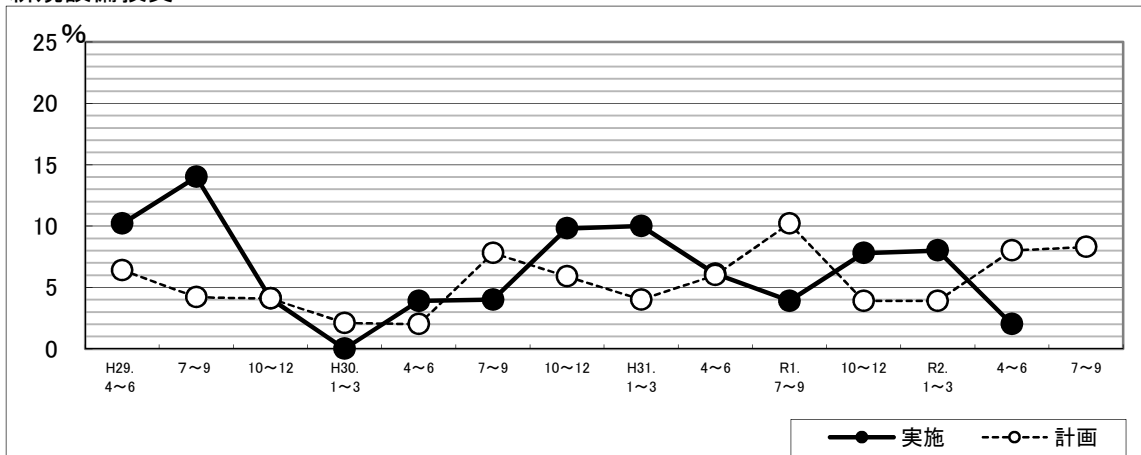
小売業(福井県商工会地域中小企業)の景況

景気動向(前年同期比:DI値)

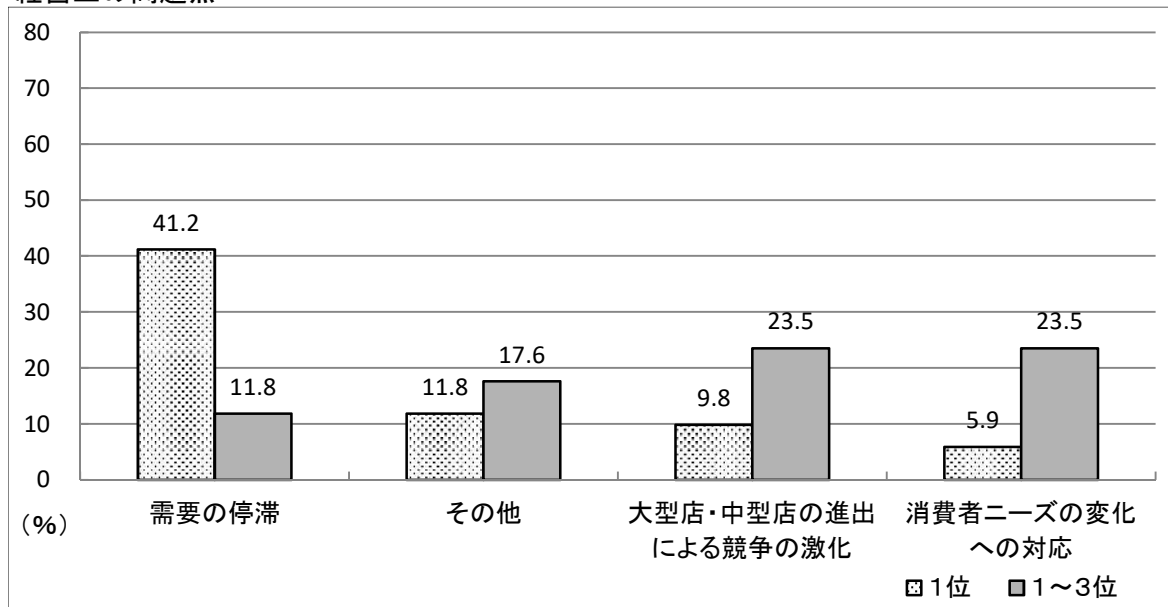
期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H29.4~6	▲ 37.2	17.6	▲ 35.3	▲ 31.3	▲ 4.5	▲ 38.8
7~9	▲ 41.2	5.9	▲ 26.0	▲ 17.7	▲ 16.7	▲ 28.0
10~12	▲ 41.2	14.0	▲ 27.4	▲ 25.5	▲ 11.6	▲ 35.3
H30.1~3	▲ 48.0	22.0	▲ 43.1	▲ 32.0	▲ 6.9	▲ 43.1
4~6	▲ 19.6	24.0	▲ 26.0	▲ 21.6	▲ 7.1	▲ 30.0
7~9	▲ 11.8	15.7	▲ 9.8	▲ 17.7	▲ 13.6	▲ 19.6
10~12	▲ 19.7	19.6	▲ 21.6	▲ 17.6	▲ 9.3	▲ 21.6
H31.1~3	▲ 35.3	11.8	▲ 19.6	▲ 13.7	▲ 7.0	▲ 15.6
4~6	▲ 28.6	18.8	▲ 22.5	▲ 28.6	▲ 4.5	▲ 28.6
R1.7~9	▲ 25.0	20.8	▲ 22.4	▲ 33.3	▲ 11.2	▲ 28.6
10~12	▲ 27.4	21.5	▲ 25.5	▲ 23.5	▲ 6.9	▲ 22.0
R2.1~3	▲ 47.0	22.0	▲ 39.2	▲ 21.6	▲ 6.7	▲ 38.0
4~6	▲ 83.6	10.2	▲ 71.5	▲ 60.0	▲ 7.4	▲ 79.6
7~9見通し	▲ 58.0	6.1	▲ 56.0	▲ 38.0	▲ 7.3	▲ 56.3



新規設備投資



経営上の問題点



調査企業の声

- ・売上額がじわじわ減少していることにより、採算が合わなくなってきた。加えて経営者の高齢化によってマンパワー減少の問題に直面している。
- ・これまでにない減収減益の状況。来年度は好転してほしいと思います。

小売業の景況

最近の小売商況を外観すると、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続いていたが、足元で持ち直しの気配がみられる。ちなみに、百貨店・スーパーで足元下げ止まり感がみられるほか、ドラッグストア、ホームセンターなどは好調、家電販売も持ち直している。自動車販売も持ち直しつつある。一方、主要観光地の入込や温泉客数で低下しているほか、住宅投資も弱い動きとなっている。

こうした中、今回の景況調査では、景況感を示すDI値6項目中、仕入単価（逆指数）を除く5項目で悪化傾向を示している。ちなみに、項目別の状況をみると、売上高が前期▲47.0→今期▲83.6、仕入単価（逆指数）が前期22.0→今期10.2、採算が前期▲39.2→今期▲71.5、資金繰りが前期▲21.6→今期▲60.0、従業員数が前期▲6.7→▲7.4、業況が前期▲38.0→今期▲79.6となっている。また、先行き（R2年7-9月期）については、低水準であるものの、全ての項目で改善予測となっている。

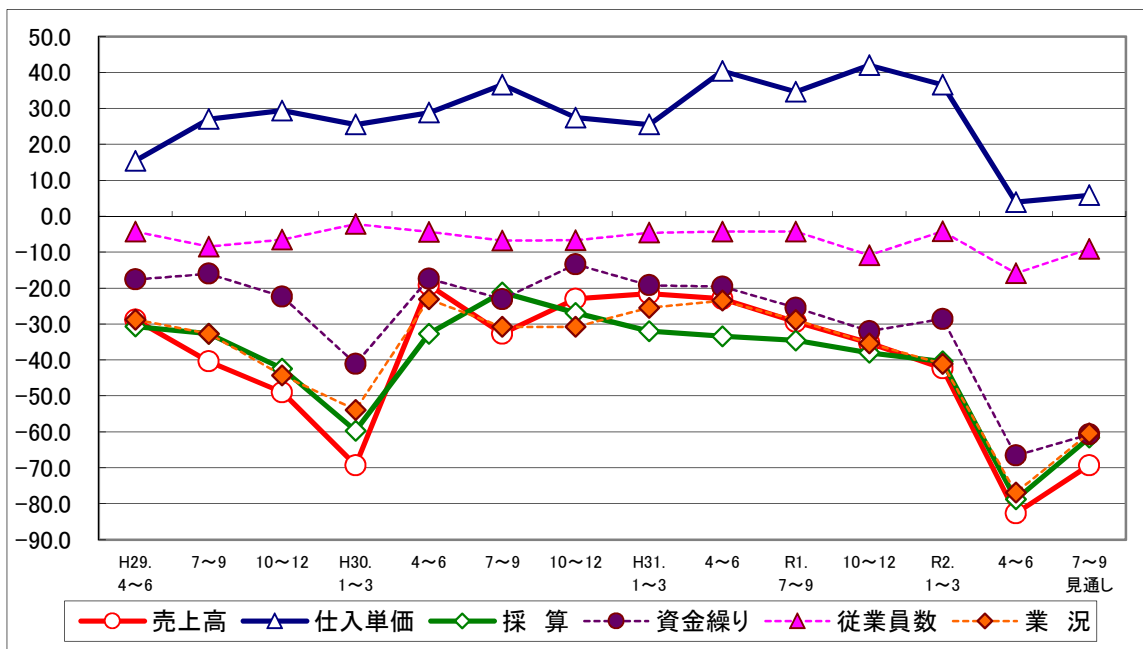
一方、新規設備投資の状況については、今期、計画の8.0%に対し実施は2.0%となり、低調な投資水準となっている。先行き（R2年7-9月期）についても、何らかの投資を計画する企業ウエイトが8.0%と、引き続き低水準の投資環境が続く模様である。

最後に、経営上の問題点については、「需要の停滞」が最も多く、1位に挙げた企業ウエイト41.2%、1位～3位までに挙げた企業11.8%となった。そのほか、個別の見解として、「売上額がじわじわ減少していることにより、採算が合わなくなってきた」、「経営者の高齢化によってマンパワー減少の問題に直面している」、「これまでにない減収減益の状況」といった悲観的な声が多く聞かれた。

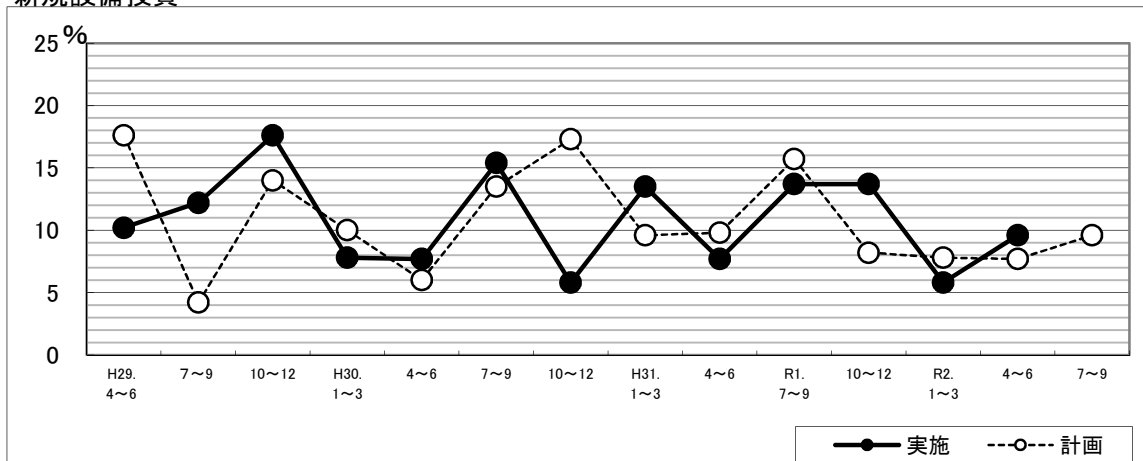
サービス業(福井県商工会地域中小企業)の景況

景気動向(前年同期比:DI値)

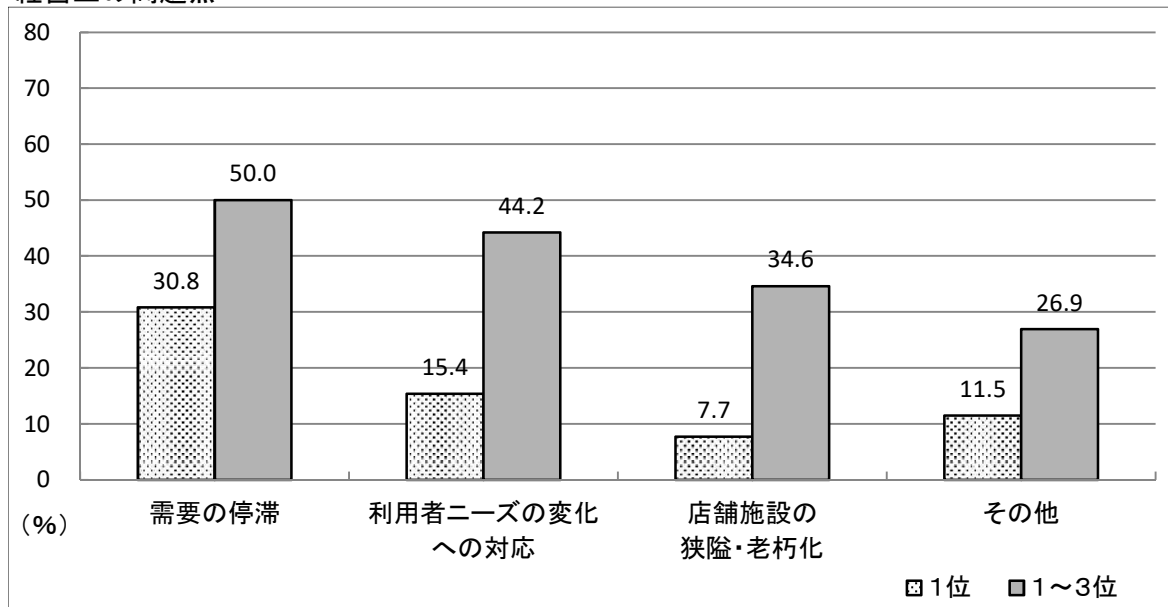
期別/項目別	売上高	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況
H29.4~6	▲ 28.8	15.4	▲ 30.7	▲ 17.6	▲ 4.3	▲ 28.8
7~9	▲ 40.4	27.0	▲ 32.7	▲ 16.0	▲ 8.5	▲ 32.7
10~12	▲ 49.0	29.4	▲ 42.4	▲ 22.4	▲ 6.5	▲ 44.3
H30.1~3	▲ 69.3	25.5	▲ 59.7	▲ 41.1	▲ 2.2	▲ 53.9
4~6	▲ 19.2	28.8	▲ 32.7	▲ 17.4	▲ 4.4	▲ 23.1
7~9	▲ 32.7	36.6	▲ 21.2	▲ 23.1	▲ 6.8	▲ 30.8
10~12	▲ 23.0	27.4	▲ 26.9	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 30.8
H31.1~3	▲ 21.6	25.5	▲ 32.0	▲ 19.2	▲ 4.6	▲ 25.5
4~6	▲ 23.0	40.4	▲ 33.4	▲ 19.6	▲ 4.3	▲ 23.5
R1.7~9	▲ 29.4	34.6	▲ 34.6	▲ 25.5	▲ 4.3	▲ 28.9
10~12	▲ 35.3	42.0	▲ 38.0	▲ 32.0	▲ 10.9	▲ 35.4
R2.1~3	▲ 42.3	36.6	▲ 40.4	▲ 28.6	▲ 4.2	▲ 41.1
4~6	▲ 82.7	3.9	▲ 78.8	▲ 66.6	▲ 15.9	▲ 76.9
7~9見通し	▲ 69.3	5.8	▲ 61.6	▲ 60.7	▲ 9.1	▲ 60.4



新規設備投資



経営上の問題点



調査企業の声

- ・ コロナで自粛していたお客さんが戻ってくるか心配。
- ・ 春の繁忙期に入ってから新型コロナウイルスによって、需要が激減し、事業の存続が厳しくなっている。

サービス業の景況






サービス業の中から、観光サービス業の状況を見ると、とりわけの観光地もコロナ禍で入込客の大幅低下となったほか、唯一の温泉街“あわら温泉”も温泉旅館の大半が休業するなど、厳しい展開を強いられている。こうした中、福井県立大学が実施した県内企業の実態調査によると、温泉旅館、民宿、ビジネスホテルなどでは、回答した企業すべてで業況が悪くなったとこたえるなど、観光サービス業や飲食サービスの経営状況は極めて厳し状況にあることが確認されている。





























































こうした中、今回の景況調査をみると、福井県の場合、DI値6項目中、仕入単価（逆指数）を除く5項目で大幅な悪化となっている。項目別の指数を見ると、売上高が前期▲42.3→今期▲82.7、仕入単価（逆指数）が前期36.6→今期3.9、採算が前期▲40.4→今期▲78.8、資金繰りが前期▲28.6→今期▲66.6、従業員数が前期▲4.2→今期▲15.9、業況が前期▲41.1→今期▲76.9となっている。引き続き、福井県のサービス業は、厳しい環境が続いていることがうかがえる。また、先行き（R2年7-9月期）については、低水準ながら、今期とは逆に、仕入単価（逆指数）を除く5項目で改善予測となっている。

一方、新規設備投資については、計画7.7%に対し実施が9.6%と、実施が計画を上回っている。また、先行き（R2年7-9月期）についても、何らかの投資を考える企業ウエイトが9.6%と、引き続き低水準の投資マインドが予想される。

最後に、経営上の問題点については、「需要の停滞」（1位に挙げた企業ウエイト30.8%、1位～3位までに挙げた企業50.0%）への指摘が最も多い。また、個別の見解としては、「コロナで自粛していたお客さんが戻ってくるか心配」、「春の繁忙期に入ってから新型コロナウイルスによって、需要が激減し、事業の存続が厳しくなっている」、「新型コロナウイルスの影響で、先行きが不安」などの悲観的見解が多くみられた。

全国・福井景気動向 令和2年4月～6月（対前年同期比：DI値）

DI値	100～15.1	15～0.1	0～-15	-15.1～ -40	-40.1～ -100
天気図					
傾向	好転	やや好転	やや悪化	悪化	大幅に悪化

業種別 / 項目別	売上額	仕入単価	採算	資金繰り	従業員数	業況	
全国	全体						
	DI値	▲ 69.0	11.6	▲ 61.7	▲ 48.8	▲ 10.4	▲ 65.0
	製造業						
	DI値	▲ 71.1	17.9	▲ 63.6	▲ 51.3	▲ 10.6	▲ 70.0
	建設業						
	DI値	▲ 40.1	30.3	▲ 33.1	▲ 22.5	▲ 7.0	▲ 34.5
	小売業						
	DI値	▲ 71.2	1.1	▲ 62.7	▲ 48.9	▲ 6.4	▲ 66.8
	サービス業						
	DI値	▲ 79.9	8.3	▲ 72.0	▲ 58.5	▲ 14.6	▲ 73.7
福井	全体						
	DI値	▲ 76.6	8.1	▲ 71.5	▲ 57.3	▲ 12.2	▲ 76.4
	製造業						
	DI値	▲ 83.8	14.3	▲ 78.4	▲ 59.5	▲ 15.6	▲ 86.5
	建設業						
	DI値	▲ 49.9	4.2	▲ 45.8	▲ 29.2	▲ 8.7	▲ 54.1
	小売業						
	DI値	▲ 83.6	10.2	▲ 71.5	▲ 60.0	▲ 7.4	▲ 79.6
サービス業							
DI値	▲ 82.7	3.9	▲ 78.8	▲ 66.6	▲ 15.9	▲ 76.9	

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります。

